

Hallow

Happiness Long Life
Open-innovation
Workshop

産官学民医連携

生きがいのある暮らしを創る オープンイノベーションワークショップ

About

超高齢化社会における暮らしの質の向上を目指して、それを実現するために必要な「ものづくり」について、様々なセクターに関わる人が集まり、ダイアログを通して、その可能性について考えるワークショップ。

プロジェクト型ワークショップでは、課題解決につながる「ものづくり」を通して、参加者自身が、超高齢化社会の暮らしの在り方について考えていきます。

・自立して健康で暮らせるために必要な「ものづくり」
・身体機能の維持、回復のための「ものづくり」
・健康寿命の伸びにつながる「ものづくり」

ハードウェア、
ソフトウェアアプリなど、
様々な分野を想定

超高齢化社会における暮らしの質の向上につながる「ものづくり」をおこないます。

参加申込みフォーム http://www.coc-nbu.jp/entry/hallow_form.html

【定員】30名まで（申込み多数の場合は、事務局で人数を調整させていただく場合がございます。）

問い合わせ先

日本文理大学 産学官民連携推進センター (E-mail) sangaku@nbu.ac.jp
(一社)大分県工業連合会 (E-mail) uesugi@oitakenkoren.or.jp (Tel) 097-506-3267

Schedule

- ① 5月14日 土 概要説明、ワークショップ企画関連講演、アイスブレイク
13:30~17:00 (会場: 大分県立美術館 OPAM 2階 研修室)
- ② 6月18日 土 ヘルスケアハッカソン、取り組み課題について
10:30~17:00 (会場: 大分県立美術館 OPAM 2階 研修室)
- ③ 7月9日 土 アイデアソン (チーム課題についてとことん考える)
10:30~17:00 (会場: 市内中心部で実施)
- ④ 8月20日 土 チーム提案を参加者全員でブラッシュアップ
10:30~17:00 (会場: 市内中心部で実施)
- ⑤ 9月17日 土 最終発表会(どんな「アイデアとモノ」が飛び出すか!)
14:00~17:00 (会場: 市内中心部で実施)

※ 期間中は、随時、施設見学やフィールドワークを実施。
(医療機関、ものづくり企業、大学など)

※ ものづくりの試作期間は、7~8月の2ヶ月間。
(参加企業、大学の協力のもと試作を実施します。)

<主催> 日本文理大学 産学官民連携推進センター、大分県立看護科学大学、
大分県立芸術文化短期大学、社会医療法人 敬和会 大分東部病院、
(一社)大分県工業連合会(三次元技術研究会)

<共催> 大分県医療ロボット・機器産業協議会